

# GiSEN

## 第106期 営業報告書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日



岐セン株式会社

## 目 次

株主の皆さまへ	1
事業報告書	2
グラフによる業績の推移	4
新技術紹介	6
貸借対照表	8
損益計算書	10
株主資本等変動計算書	11
個別注記表	12
会社の概況	14
役員	16
株主メモ	17



# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第106期（平成29年4月1日から平成30年3月31日に至る）の当社営業報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

第106期の業績は、事業報告書通りですが、当期の重点課題は、少子高齢化と消費動向の変化に伴う、ファッション衣料の消費低迷と商流変化に対して、当社の得意とする技術でタイムリーな開発と提案を強化して受注に繋げることでした。受注が見込める分野への開発強化、生産性向上と経費削減に向けて全社で弛まぬ努力・行動・創意工夫を重ねたことで着実に実績を挙げられたものと考えております。

同時に、成長事業としてのテキスタイル販売事業は機業場との協業強化、木材染色事業についても将来に繋がる商品開発強化に取り組んでまいりました。また、当社は、平成30年1月に節目となる創立75周年を迎えることができました。

これもひとえに株主の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、誠に遺憾ながら企業体質強化のため内部留保を高める方針のもと当期の配当につきましては、株主の皆さまには申し訳なく存じますが、無配とさせていただきました。

今後とも、全社をあげて収益の改善と業績の安定強化に全力を尽くす所存であります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも引き続き格別のご理解とご支援をたまわりますようお願い申し上げます。



平成30年6月

代表取締役社長 後藤 勝則

# 事業報告書

(自：平成29年4月1日 至：平成30年3月31日)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過および成果

当期におけるわが国の経済は、企業収益や雇用所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調を示してきましたが、米国の経済政策や資源国の地政学的リスクなど経済動向に不確実性もあり、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

繊維業界におきましては、少子高齢化や消費動向の変化によるファッション衣料の低迷と輸出の伸び悩みが続き、更に原燃料の高止まりなど、業界を取り巻く環境も厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社は持続的な利益創出と利益率改善を念頭に置き、商流変化・素材変化に向けた柔軟な対応とタイムリーな開発を図り受注確保に努めてまいりました。加えて、5S活動強化による不良損失削減、生産性向上・省エネ設備更新などの自助努力によるコスト削減を図ってまいりました。

#### 【染色加工事業】

当事業の主力であるファッション衣料のうち、婦人ボトム向けニット商品は低調な市況の影響を受けて受注減となりましたが、春夏商品において「ナチュラル・天然繊維」というキーワードのもと麻ライクおよび合繊／麻の複合素材が新トレンド商品として順調に受注できました。もう一つの柱であるユニフォーム関係は、企業別注ユニフォーム、官需関係の更新と新規顧客獲得で受注が増加いたしました。

中東民族衣装関係は、市況の悪化により低調に推移いたしました。また、受注強化してまいりました非衣料向け人工皮革は、コンシューマーエレクトロニクス関係の市況の悪化と発注元の用途転換により大幅な受注減となりました。

これらの落込み分を前述の新トレンド商品およびユニフォームでカバーを図りましたが、結果として、当期の当事業の売上高は2,868百万円と前期比91百万円(△3.1%)の減収となりました。

#### 【テキスタイル販売事業】

当事業は、ユニフォーム関係の受注が順調に推移いたしました。またファッション衣料向けでは機業場との協業による商品開発強化により受注増に繋がりました。この結果、売上高は142百万円と前期比51百万円(57.0%)の増収となりました。

#### 【木材染色事業】

主力である自動車用途はモデル末期の生産調整と新規採用車の数量も伸びず受注減少となりました。新規の開発案件は増加しましたが量産に繋がらず、売上高49百万円と前期比12百万円(△20.3%)の大幅減収となりました。

#### 【不動産賃貸事業】

売上高50百万円となりました。

以上の結果、当期の業績といたしましては、全売上高は、

3,146百万円と前期比47百万円(△1.5%)の減収となりました。

利益面では、汚泥乾燥機更新、LED照明などの省エネ設備更新、高効率染色機導入およびボイラー稼働の効率化等によるコスト削減が利益創出に寄与いたしました。また、当期で2015年版に移行したISO 9001の品質管理活動の強化および5S活動推進により不良損失を削減してまいりました。

一方で、LNG・電気料金の値上がり、一部の基礎薬剤高騰の影響もあり、結果として、営業利益は112百万円と前期比5百万円(△4.8%)の減益となりました。経常利益は、96百万円と前期比13百万円(16.7%)増となり減収増益となりました。

最終当期純利益は、前期に土地売却益を計上したこともあり前期比95百万円(△58.1%)減の68百万円となりました。

## (2) 設備投資の状況

当期中に実施した設備投資につきましては、高効率染色機の導入、汚泥乾燥機の更新、LED照明化、排熱回収設備等省エネルギー関連設備の更新、色彩管理機器の更新などで157百万円の投資を行いました。

## (3) 資金調達の状況

上記設備投資資金として150百万円の銀行借入れを行いました。

## (4) 対処すべき課題

今後のわが国の経済見通しは、緩やかな回復基調であります。衣料の消費動向は依然として回復は鈍いと予想されます。業界を取り巻く環境も原油価格高騰に伴うLNG・電気料金の値上がり、更には、中国の環境問題に伴う染料価格・基礎薬剤の高騰などが利益を圧迫する厳しい状況が続くと予想されます。

このような経済環境の下で、当社といたしましては、2018年度～2020年度までの中期経営計画「GISEN・イノベーション2020」を策定いたしました。あるべき姿に向かって市況情報を的確に把握し、得意とする商品のタイムリーな開発と提案で安定受注を図るとともに、取引条件および不採算品の価格改善による利益率改善に引続き取り組んでまいります。持続的利益が創出できる付加価値創造企業“オンリーワン企業”を目指してまいります。

染色加工事業におきましては、工場レイアウト変更による生産性向上を図り、省エネルギー、不良損失減少などのコスト削減を推進して収益改善を図ってまいります。

テキスタイル販売事業では機業場との協業などで商流の確立と顧客拡大に向けて積極的に拡販して収益基盤の強化を図ってまいります。

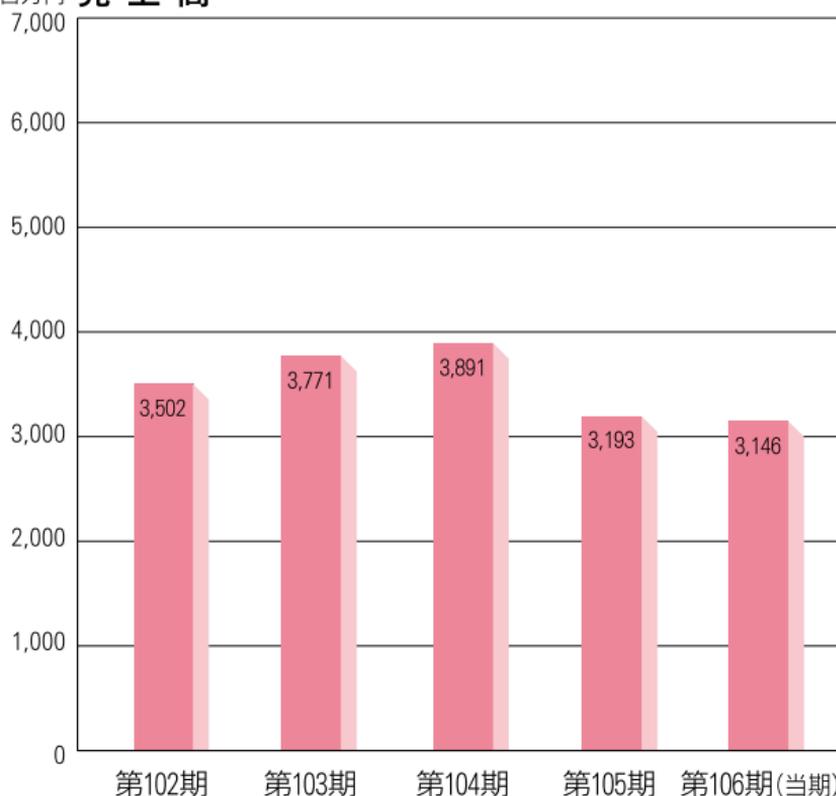
木材染色事業につきましては新型車モデル獲得に向けた試作開発および新規用途展開を更に推進して、収益基盤の強化を図ってまいります。

また、子会社の株式会社岐阜バイオマスパワーにつきましては、発電ボイラー増設にむけ本年着工し、2020年8月に2号機の稼働を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

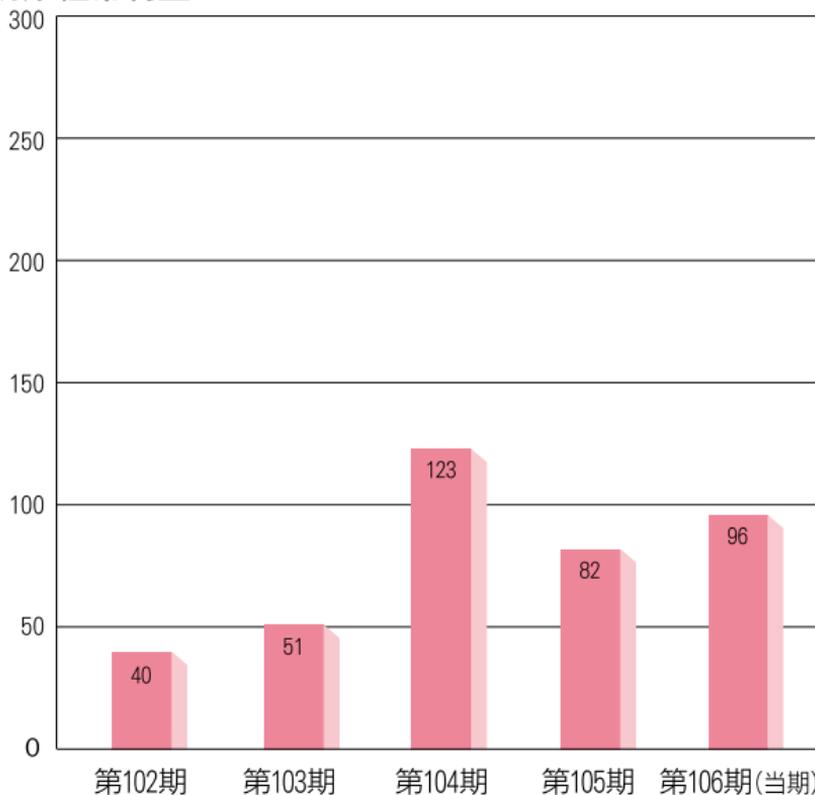
# グラフによる業績の推移

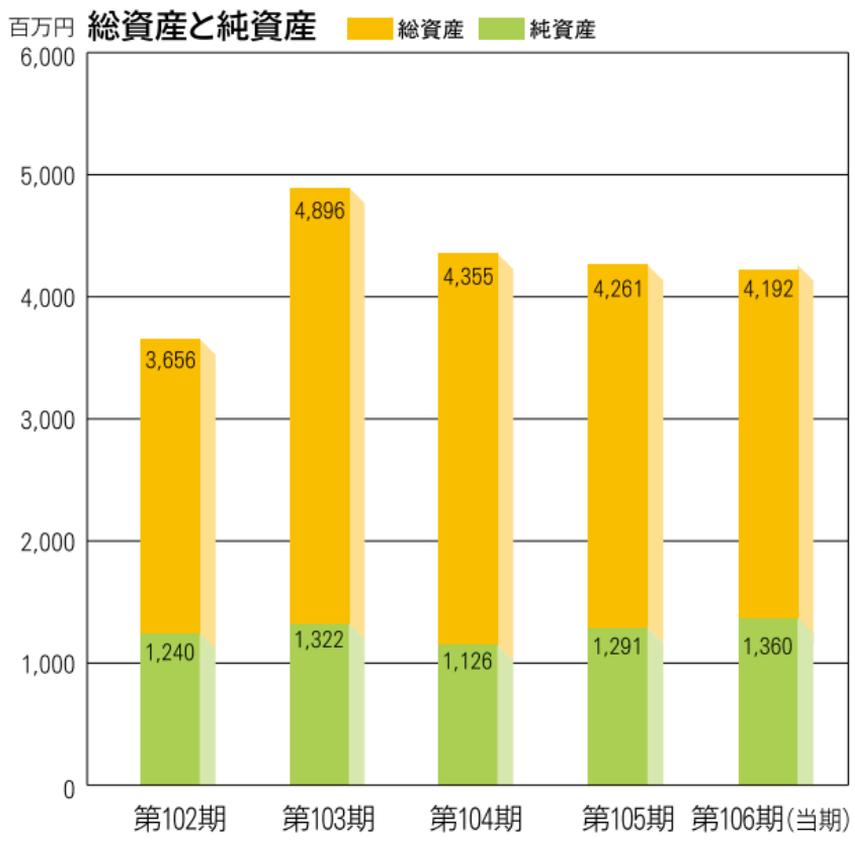
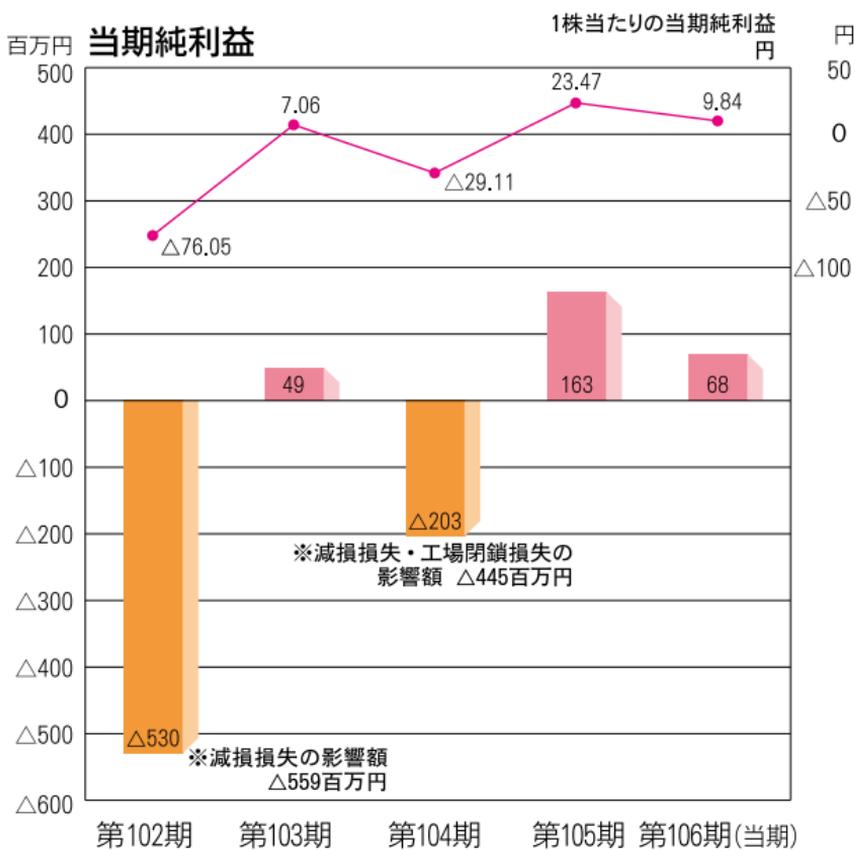
## 百万円 売上高\*



※当期より不動産賃貸収入を売上高に組入れております。比較のため、前期までの売上高についても同様の組入れを行っております。

## 百万円 経常利益





# 新技術紹介

## コモガード ホット

従来の撥水加工では十分な性能が得られなかった熱湯(70℃)に対し、常温水と同等の撥水性能を持つ熱湯対応撥水加工です。(撥水性スプレー法 初期 4 級 家庭洗濯 10 回後 3 級)

## ハイドⅡ

生地設計技術と岐セン独自の加工技術の融合により完成させた新感覚高密度スエード調加工商品です。追加で特殊加工を併用する事により、更にスエード感を増す事も可能です。

# 貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

科 目	金 額
(資 産 の 部)	
流 動 資 産	1,183,603
現金及び預金	541,663
受取手形	82,435
売掛金	324,820
仕掛品	7,832
原材料	68,911
貯蔵品	61,775
前払費用	28,350
未収入金	3,705
繰延税金資産	31,764
その他の流動資産	28,343
貸倒引当金	4,266
	△ 265
固 定 資 産	3,007,866
有 形 固 定 資 産	2,722,826
建築物	220,434
機械及び装置	126,683
車両運搬具	141,690
工具、器具及び備品	1,322
土地	5,226
リース資産	1,463,441
建設仮勘定	763,239
無 形 固 定 資 産	788
ソフトウェア	35,567
電話加入権	35,383
投資その他の資産	183
投資有価証券	249,472
関係会社株式	121,753
出資金	104,500
長期貸付金	1,818
破産更生債権等	700
長期前払費用	94
その他の投資	17,930
貸倒引当金	4,263
	△ 1,588
繰 延 資 産	951
社債発行費	951
資 産 合 計	4,192,422

(単位：千円)

科 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	1,009,157
支払手形	82,544
電子記録債	107,641
買掛金	88,147
短期借入金	30,000
1年内償還予定の社債	18,200
1年内返済予定の長期借入金	129,171
リース債	105,129
未払金	229,458
未払費用	42,215
未払法人税等	13,061
未払消費税等	15,042
預り金	3,213
賞与引当金	54,704
設備関係支払手形	82,385
その他流動負債	8,241
固定負債	1,823,115
社債	39,000
長期借入金	250,847
リース債	746,165
繰延税金負債	6,291
再評価に係る繰延税金負債	390,033
退職給付引当金	355,817
役員退職慰労引当金	19,493
長期未払金	13,464
その他固定負債	2,003
負債合計	2,832,273
(純資産の部)	
株主資本	587,571
資本金	100,000
資本剰余金	341,000
資本準備金	88,200
その他資本剰余金	252,800
利益剰余金	150,637
その他利益剰余金	150,637
固定資産圧縮積立金	23,623
特別償却準備金	1,593
繰越利益剰余金	125,420
自己株式	△ 4,065
評価・換算差額等	772,577
その他有価証券評価差額金	1,452
土地再評価差額金	771,125
純資産合計	1,360,149
負債純資産合計	4,192,422

# 損益計算書

(自：平成29年4月1日 至：平成30年3月31日) (単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		3,146,832
売 上 原 価		2,725,983
売 上 総 利 益		420,848
販売費及び一般管理費		308,193
営 業 利 益		112,655
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	58	
有 価 証 券 利 息	1,260	
受 取 配 当 金	5,481	
受 取 保 証 料	4,714	
そ の 他 営 業 外 収 入	18,081	29,596
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	39,464	
そ の 他 営 業 外 費 用	6,075	45,540
経 常 利 益		96,711
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	2,832	
固 定 資 産 除 却 損	547	3,380
税引前当期純利益		93,331
法人税、住民税及び事業税	18,756	
法人税等調整額	5,915	24,672
当 期 純 利 益		68,658

# 株主資本等変動計算書

(自：平成29年4月1日 至：平成30年3月31日) (単位：千円)

項目	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	100,000	88,200	252,800	341,000
当期変動額				
当期純利益				
自己株式の取得				
土地再評価差額金の取崩				
特別償却準備金の積立				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	100,000	88,200	252,800	341,000

項目	株主資本					株主資本合計
	利益剰余金				自株 己式	
	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
	固定資産圧縮積立金	特別償却準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	23,623	-	54,689	78,312	△4,017	515,295
当期変動額						
当期純利益			68,658	68,658		68,658
自己株式の取得					△48	△48
土地再評価差額金の取崩			3,665	3,665		3,665
特別償却準備金の積立		1,593	△1,593	-		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	1,593	70,730	72,324	△48	72,276
当期末残高	23,623	1,593	125,420	150,637	△4,065	587,571

項目	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	993	774,790	775,783	1,291,079
当期変動額				
当期純利益				68,658
自己株式の取得				△48
土地再評価差額金の取崩				3,665
特別償却準備金の積立				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	458	△3,665	△3,206	△3,206
当期変動額合計	458	△3,665	△3,206	69,069
当期末残高	1,452	771,125	772,577	1,360,149

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 有価証券の評価基準および評価方法

(1)子会社株式……移動平均法に基づく原価法

(2)その他有価証券

①時価のあるもの……期末日の市場価格等に基づく時価法  
(評価差額は全部純資産直入法により  
処理し、売却原価は移動平均法により  
算定)

②時価のないもの……移動平均法に基づく原価法

### 2. たな卸資産の評価基準および評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

(1)原材料および貯蔵品…移動平均法

(2)仕掛加工料……月次移動平均法

(3)商品……最終仕入原価法

### 3. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については、定額法を採用しております。

耐用年数および残存価額については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(2)無形固定資産(リース資産を除く)

ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(3)リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

### 4. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金……債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

- (2)賞 与 引 当 金……従業員に対する賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額のうち当期負担額を計上しております。
- (3)退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、当期末における自己都合退職金要支給額から年金資産を控除した額を計上しております。
- (4)役員退職慰労引当金…役員退職慰労金の支払に備えるため、役員退職慰労金に関する内規に基づく期末要支払額を計上しております。

## 5. 収益の計上基準

加工料収入は主として加工完了基準により計上しております。

## 6. その他の計算書類作成のための基本となる重要な事項

### (1)繰延資産の処理方法

#### 社債発行費

社債の償還までの期間にわたり定額法により償却しております。

### (2)消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

### (3)表示方法の変更

従来、受取賃貸料及び賃貸費用については、「営業外収益」および「営業外費用」に計上しておりましたが、当事業年度より、「売上高」および「売上原価」に計上する方法に変更しております。これは、当社では、不動産事業を主要な事業の一つとして位置付け、不動産賃貸収入についても安定的な収入源の一つであるとの認識のもと、事業運営の実態をより適切に表示する為に表示方法を変更しております。なお、前事業年度において、「加工料収入」「その他の事業売上高」「その他営業外収入」に区分表示しておりました売上高は、「不動産賃貸収入」を売上高に計上する方法に変更したことに伴い、表示科目を見直した結果、当事業年度より「売上高」として一括表示しております。

# 会社の概況

(平成30年3月31日現在)

## (1) 主要な工場・営業所および事業内容

事業所	主要な事業内容
本社・穂積工場 (岐阜県瑞穂市)	織物・編物・不織布の染色加工 木材関連事業および不動産賃貸業
大阪営業所 (大阪市中央区本町)	受注業務

## (2) 品目別・事業別売上高

(単位：百万円)

区分	前期		当期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	差額	増減率
		%		%		%
<b>染色加工事業</b>	<b>2,960</b>	<b>92.7</b>	<b>2,868</b>	<b>91.2</b>	<b>△91</b>	<b>△3.1</b>
織物の加工	2,357	73.8	2,432	77.3	75	3.2
編物の加工	271	8.5	173	5.5	△97	△36.0
不織布の加工	331	10.4	262	8.3	△69	△20.8
<b>その他事業売上高</b>	<b>233</b>	<b>7.3</b>	<b>278</b>	<b>8.8</b>	<b>44</b>	<b>19.0</b>
テキスタイル販売事業	90	2.8	142	4.5	51	57.0
木材染色事業	62	1.9	49	1.6	△12	△20.3
不動産賃貸事業	50	1.6	50	1.6	0	0.0
その他	29	0.9	35	1.1	5	17.6
<b>合計</b>	<b>3,193</b>	<b>100.0</b>	<b>3,146</b>	<b>100.0</b>	<b>△47</b>	<b>△1.5</b>

## (3) 重要な子会社等の状況

### ①重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
岐セン物流株式会社	30百万円	100.0%	包装・梱包・保管・運送業
株式会社ギフパッキング	40百万円	50.0%	包装・梱包・保管・運送業
株式会社 岐阜バイオマスパワー	45百万円	62.2%	発電事業

- (注) 1. 岐セン物流株式会社は、特定子会社であります。  
 2. 株式会社ギフパッキングは当社の持分は100分の50であります  
 が実質的に支配しているため、子会社としております。なお、同社  
 は特定子会社であります。  
 3. 株式会社岐阜バイオマスパワーは、特定子会社であります。

### ②重要な企業結合等の状況

当社の連結対象子会社は上記の子会社3社であり、持分法  
 適用会社は2社であります。

当社は、東レ株式会社の関連会社であります。

#### (4) 従業員の状況

従業員数	前期末比 増・減	平均年齢	平均勤続年数
129名	6名	37.8歳	15.6年

(注) 出向者、パート従業員は含んでおりません。

#### (5) 主要な借入先

借入先	借入金残高
	百万円
株式会社三菱東京UFJ銀行	325
株式会社十六銀行	55
株式会社みずほ銀行	30

(注) 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

#### (6) 会社の株式に関する事項

- |            |          |
|------------|----------|
| ① 発行可能株式総数 | 28,000千株 |
| ② 発行済株式の総数 | 7,056千株  |
| ③ 株主数      | 681名     |

#### (7) 大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
東レ株式会社	1,408	20.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	318	4.56
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	277	3.98
岐セン従業員持株会	241	3.46
近藤千博	225	3.23
株式会社日阪製作所	200	2.87
木村哲哉	139	1.99
オー・ジー長瀬カラーケミカル株式会社	135	1.94
山口晋平	119	1.71
濃飛倉庫運輸株式会社	113	1.62

(注) 持株比率は、自己株式(82,844株)を控除して計算しております。

(注) 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

# 役員

(平成30年6月25日現在)

代表取締役社長	後藤 勝則
常務取締役	鈴木 康裕 (管理部長)
取締役	金森 孝博 (穂積工場長)
取締役	後藤 康之 (営業部長)
取締役	栗山 幸治 (テキスタイル販売部長)
取締役(非常勤)	鳥越 和峰 (東レ(株) テキスタイル事業部門長)
監査役	井上 二三夫
監査役(非常勤)	高山 裕幸 (東レ(株) 繊維事業管理室長)

.....  
(注) 本営業報告書中の記載金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

また、割合は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (同送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元株制度	1単元の株式の数は1,000株
公告掲載新聞	中部経済新聞

(お知らせ)

株式関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンターでも承っております。

(受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)

電話 (通話料無料) 0120-232-711 (東京)  
0120-094-777 (大阪)

上記電話番号がご利用できない場合

(通話料有料) 042-204-0303

インターネットホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※表紙写真：セイヨウノコギリソウ



岐セン株式会社

岐阜県瑞穂市牛牧758番地  
TEL 058-326-8123